

日本一、永住したい街にするために もっと！流山改革

流山市が日本一永住したい街になるために、改善することはまだあります。市民の皆さんといっしょに、もっと快適で良質な都市環境の実現と、市民の知恵と力が活きる市政を形にしてまいります。いざき義治は手を抜かず全力でやります。

みんなで支えていきましょう。東日本大震災からの復興。

被害発生時から、流山市は姉妹都市災害応援協定を結ぶ「相馬市」と連絡をとり、翌朝1時半に食料・毛布などをのせた第一便を、夕方には第二便と給水車も派遣しました。その後も、相馬市からの刻々と変わる支援要請に対し、多くの市民や市内企業のご協力を頂きながら、様々な支援活動を続けています。

また流山市の安心安全のしくみとして、

- ①市民から緊急連絡用、防災無線に「聞こえない、聞き取りにくい」との声が寄せられました。今後、全市民に防犯・防災情報を確実に伝えることができるしくみを整備します。
- ②学校の耐震化に続き、他の公共施設の耐震化を前倒しで進めます。
- ③個人住宅の耐震化の促進策を拡充します。
- ④原子力発電依存を少しでも低くするために太陽光パネルの普及拡大策を充実します。

新しく 流山市民になつた方も、 ぜひ、お読みください。

いざき義治が市長に就任し、大きく発展している流山市。それは、つくばエクスプレス開業だけが理由ではありません。良質な生活環境づくりと、効率的な行政経営を進めてきた「いざき市政」の成果です。流山市は行政効率と情報公開などで日本一になりました。しかし、日本一永住したい街になるためには、改善すべき点はまだまだあります。次ページで詳しくご案内していますので、ぜひお読みください。



流山市長 井崎義治

検証！流山市長いざき義治、2期8年間の成果

流山通信簿

2011

市民の皆さまのご協力と職員の努力が、
流山をどんどんよくしています。

いざき義治のお約束

流山を、日本一 永住したい街にします。

①もっと、1円まで活かす市政。

- ①日本一の行政効率をさらに改善し、市民サービスの充実と安全な街づくりを進めます。
- ②同規模人口(10~20万人)の自治体中、最小の人件費で充実した市民サービスを実現します。

②もっと、市民に役立つ行政。

- ③広報、ホームページの改善・充実や、市民の声を集めのしくみづくりを進めます。
- ④市民の足の確保と地球温暖化対策として、ぐりーんバスや路線バスをさらに充実させバス交通をもっと便利にします。
- ⑤開発で失われた緑の回復、まち中の緑の創造、グリーンチーン認定制度の拡充を進めます。
- ⑥シニアの安心のため、特養ホーム、高齢者福祉施設、高齢者専用賃貸住宅を増設します。

③もっと、可能性を引き出す街づくり。

- ⑦市立小中学校では、ティームティーチングや成果のある英語教育に入れ、よくわかる授業、楽しい学校づくりを進めます。
- ⑧流山本町の街並みや利根運河の自然を活かしたツーリズムを進めます。
- ⑨良質な住宅環境にふさわしい企業誘致で、雇用の確保と財政基盤を強化します。
- ⑩自立・自律の自治体確立のため、条例を整備し、市政が前進し続ける基盤を整えます。

どんどんやります。いざきのアクション

流山成長戦略

①若い人口を増やします。

つい数年前までは60~64歳が最多だった流山市。このままだと近い将来、医療介護の費用が急増し、市民サービスの水準維持が難しくなります。そこで流山市は子育て世代に選ばれる街づくりをすすめ、街の活力と税収の安定化を目指します。

②企業誘致に力をいれます。

バイオ、IT、環境分野などの企業誘致により、税収の向上を目指します。良質な住環境にふさわしい企業誘致で、雇用の確保と財政基盤を強化します。

③交流人口を増やします。

流山本町の歴史と利根運河の自然を活かしたツーリズムの推進と、老朽化した市民体育館の建替えを契機に、多目的イベントにも利用できるアリーナ化により、交流人口を拡大します。交流人口を5年で5倍(現在20万人を10万人)を目指します。

④地域でお金が回るしくみを作ります。

学校給食に通年で流山のお米を使う「この街ごはんプロジェクト」がスタート。さらなる地産地消の拡大をはかります。また太陽光パネル設置や耐震診断・木造住宅耐震改修、高齢者住宅改造などの補助金対象を地元事業者活用に限定するなど、市の補助事業と市民のお金が地域の中で循環するしくみを進めます。

- ①学校の耐震化に続き、他の公共施設の耐震化を前倒しで進めます。また全市民に防犯・防災情報を確実に伝えることができるしくみを確立します。
- ②市民参加条例、まちづくり条例、市民投票条例、健全財政条例を制定し、市民を主役にするしくみをつくります。
- ③維持管理が困難になったシニアの住まいの賃貸・売却をサポートし、市内での住みかえを促進します。
- ④沿線他都市や国会、議会と連携し、つくばエクスプレスの東京駅延伸を進めます。
- ⑤公共事業などで談合情報を入手した場合、公正取引委員会に市長自ら告発します。

ボランティア大募集！

いざき義治といっしょに流山をどんどん変えていく人を待っています。

カンパをお願いします!!

振込方法(郵便振替)

- ①郵便局で青色の「振込取扱票」をもらう。
- ②口座番号欄に「0160-6-428929」を記入し、金額欄を記入します。
- ③加入者名欄に「いざき義治サポーターの会」と記入します。
- ④ご依頼欄に、あなたの「住所・氏名・電話番号」を記入します。

流山市長 いざき義治 プロフィール

昭和29年 東京生まれ(57歳)平成15年 流山市長 学歴:立正大学地理学科卒、カリフォルニア州立大学サンフランシスコ校大学院人間環境研究科修士課程修了／著書:「ニッポンが流山になる日」「これから発展する街、衰退する街」「快適都市の創造」他

いざき義治サポーターの会事務所

〒270-0176 流山市加4丁目1655番地
TEL:04-7158-1355 FAX:04-7158-1353

E-Mail info@izaki-yoshiharu.com

※いざき義治の「マニフェスト」はホームページで公開しています。

ホームページ [いざき義治](#) 検索

ツイッター twitter.com/IZAKIYOSHIHARU



討議資料

ここまで変わった流山! もっと変われ、流山!

1 1円まで活かす市政→もっと進めます

市民の皆さまの税金を大切に使い、財政の健全化と節約したお金でサービスの向上に努めました。

44億円を削減し、 市民サービスに還元

この6年間で人件費・事業費の削減によって44億円をねん出しました。
そのお金は育児支援、福祉などの市民サービスに役立てました。

行政低コスト、全国1位

2006、2007年と2年連続で行政効率(市民一人当たりの行政コスト)日本一を達成。もっとも低コストで行政サービスをする市と評価されました。

※日経グローカル調査※ *2008以降は打ち切り

行政革新度、全国8位

透明性、効率化、活性化度、市民参加度、利便度から行政の改革度を評価したもの。2008年度806自治体中8位。

※日経グローカル・日経新聞社調査

行政サービス度、 全国311位→全国28位

行政サービスの自治体競争が進む中、教育や公共料金など定量的に比較できる分野を評価。2008年度806自治体中28位。

ちなみにいざき市長就任前の2002年は、311位。

※日経グローカル・日経新聞社調査

e都市ランキング、 全国1830位→全国63位

2009年、全国1361市町村の情報化の情報化進捗度を評価したもの。ちなみにいざき市長就任前の2002年は、1830位でした。

財政健全度、 東葛地域1位、全国69位

東葛エリアの松戸市・柏市・野田市・我孫子市・流山市・

鎌ヶ谷市の中で1位。全国786市区中69位でした。

いざき市長就任前の2003年は東葛6市で下から2位でした。

財政の健全度は、市民の将来の生活に関わるので、さらに強く努力します。※都市データパック2010から

人件費52%→38%

市税收入に占める人件費。

8年前いざき市長の就任直後には52%でしたが、職員の協力を得て、昨年度38%まで削減できました。節約したお金は子育て支援や老人福祉などの市民サービスに役立てました。



会議時間7割減

市長室では立ち会議とした結果、打ち合わせ時間が3分の1に減りました。

決済スピード5割増

決済書類の確認者印鑑に、日にちを入れることにより、決済のスピードが2~5割早くなりました。

同じ仕事の経費36%減

競争入札や見積もり方法を変えた結果、同じ仕事を、6年前に比べて36%減の予算で実行しています。



いざき義治が流山市長として2003年から取り組んだ内容をご紹介します。
公約(マニフェスト)の実現を「やればできる」を合言葉に、やりとげてきました。
これは、市民の皆さまのご協力と職員の努力があったからこそです。
これまでに感謝するとともに、新たな目標に向けて、ともに歩みたく思います。

2 市民に役に立つ行政サービス→もっと高めます

流山市の行政の質を高めるために、いざき市長が取り組んできたこと。

情報公開度、 全国1位

全国785市区中1位。※全国市民オンブズマン連絡会議篇・2010年
ちなみにいざき市長の就任直前は全国で469位(698都市中)
～東洋経済新報社・2002年12月28日号～

情報セキュリティ、 全国2位

日経グローカル情報安全度調査2010
※日経グローカル2010年3月1日号・全国262市と東京23区中

地球温暖化対策、 全国5位

※地球温暖化施策2007調査、日経グローカル調査2007年12月17日号

生物多様性地域戦略の策定、 全国初

生物多様性基本法施行後、
流山市が全国で初めての策定となりました。
生態系に配慮した公園づくり・緑地保全などに努めます。

環境保全度、全国35位

経済発展と環境保全を両立したサステナブル都市を評価したもの。2009年、全国618都市中、35位でした。
※日経グローカル2010年1月4日号

3 魅力的な街づくり→どんどん発展

流山の生活を豊かにするために取り組んできたこと。

森のマルシェ

流山おおたかの森駅の前、毎月第3土曜日朝から、流山と近郊から、野菜やパンなどおいしいものが集まる朝市。

ガーデニングの街、流山

流山市は知る人ぞ知るガーデニングの街。
とくに5月初旬に開催されるオープンガーデンは好評で、県内外から約1万人のお客様が来訪。

流山グリーンチェーン戦略

緑を回復し、ヒートアイランド抑制や温暖化防止と、緑を都市の価値にする流山市独自の「グリーンチェーン戦略」。
認定物件は2000戸を超ました。

駅前送迎保育ステーション、 全国唯一

市内の公営、民間の保育園すべてをカバーしているのは、流山市が全国唯一。全国モデルとしてTVや新聞で何度も紹介されています。

小児科救急、 4月1日スタート

平日夜間休日診療所の終了後、午後9時から翌朝8時まで、市内医師会や病院のご協力を得て、夜間・深夜の小児科救急が始まりました。

小中学校の耐震補強工事、 4%→42%→この夏100%

市内の小中学校の耐震化率は、いざき市長就任直前の平成14年度末には4%でしたが、平成19年度末には42%、平成22年度末に校舎は100%。この夏には体育館も含め100%になります。

バスの乗車人数4.1倍

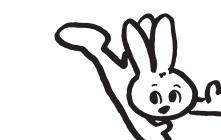
いざき市政で実現したコミュニティバス「ぐりーんバス」と路線バスの充実により、この6年間に乗車人数は4.1倍、路線数は7.5倍、走行距離は17.8倍になりました。

自治基本条例、 千葉県初

将来的に市民参画の後退や安易な借金体质に戻ることのないよう、自治体の憲法「市民自治基本条例」を策定。ちなみにいざき市長就任直前は、自治体への住民参加度は、全国698市中、657位、住民利便度639位。
※日経新聞・全国住民サービス番付2003より

災害で助け合うしくみ 2.4倍

災害時に助け合うしくみ「災害応援協定」がいざき市政になって、16団体から39団体が増えました。すべての姉妹都市(相馬市・信濃町)・友好都市(能登町、北上市)とも協定を結びこの震災では相馬市支援とともに、3月下旬には能登町から10トンの水を流山の乳児用に送っていただきました。



流山本町の史跡探索や 利根運河の自然観察ウォーキング

JRや民間各社の協力を得てウォーキングを年間を通じて開催。

流山フィルムコミッショナ

ドラマ、映画、CMなどのロケ地として有名な流山。最近1年半での撮影実績は41本。

流山市のマスコミ等掲載回数

新聞掲載回数でみると、2002年度は186回→2009年度は875回

タウンミーティング100回

いざき市長になってから市民との対話「タウンミーティング」は100回を数えました。